

第 12 課 諸国民の願い 3 月 20 日

1. 神様がおられるところへ行く道を探す

- ①イザヤ書 59 章 1、2 節—私たちの罪は、神様との関係にいかに関係がありますか？
- ②私たちが罪を犯す時、神は、ご自身を私たちから離されますか、それとも、私たちが、自分自身を神様から離すのですか？ 聖書を使って教えてください（創世記 3 章 8 節）。
- ③聖書の教えによると、自分の罪が神様との分離を起こしたと自分で感じた時の、適切な対応とはどんなものですか？ ヨハネの手紙 1・1 章 9 節、詩編 32 編 1～5 節、51 編 1、2、10～12 節、エレミヤ書 31 章 31～34 節、ローマの信徒への手紙 6 章 23 節、10 章 13 節他。
- ④神様がおられるところへ行く道を私たちがいかに探することができるか、ということについて、迷った羊の例え話から、何を学ぶことができますか？ ルカによる福音書 15 章 4～6 節、20～24 節（イザヤ書 61 章 10 節も参照）。

2. 主の栄光の顕現

- ①イザヤ書 60 章 1～3 節。この預言は、誰についての言及ですか？
- ②イスラエルは国家として、反逆と不信仰のゆえに、神様の計画と目的を認めることに失敗しましたが、そのご生涯が完全にこの預言を成就した 1 人のお方の名前を挙げてください。ヨハネによる福音書 1 章 14 節（ハガイ書 2 章 6～9 節も参照）。
- ③この預言は、今日、私たちの生活それぞれにも、適用されますか？（マタイによる福音書 5 章 14～16 節）。
- ④私たちそれぞれが、神様の栄光を反映して、起き、輝く、ということは、いかに可能ですか？（ヨハネによる福音書 8 章 12 節を参照）。

3. 主の好意の年を宣言する

- ①イザヤ書 61 章 1～3 節。この預言は、誰についての言及ですか？（ルカによる福音書 4 章 18～21 節）。
- ②主の受容の年、ヨベルの年、の間に、何が起きましたか？ レビ記 25 章 10 節。
- ③救いの計画の中で、ヨベルの年の意義は何ですか？ イザヤ書 61 章 10、11 節、ヨハネによる福音書 8 章 36 節。
- ④無効にされた、私たちの最も大きな負債は何ですか？

4. 私たちの神の報復の日を宣言する

- ①イザヤ書 61 章 2 節。イエス様が 700 年後にこの預言を引用された時、彼は「わたしたちの神が報復される日」という言葉を省略されました（ルカによる福音書 4 章 19 節）。なぜですか？
- ②私たちの神の報復の日は、いつ実現しますか？ ペトロの手紙 2・3 章 10 節。
- ③この日は、罪人に対する報復の日ですか、それとも、罪に対する報復の日ですか？ ペトロの手紙 2・3 章 9 節、ヨハネによる福音書 3 章 16、17 節。
- ④主の報復は、いかに、彼の計り知れない、尽きない愛の顕現になるのですか？
- ⑤まだ神様に悔い改め立ち返る時がある間に、どんな警告のメッセージが、シェアされなければ、なりませんか？ イザヤ書 55 章 5～7 節、ヨハネの黙示録 14 章 6、7 節他。
- ⑥「神様の警告のメッセージをシェアしたいけれど、拒まれたり、冷笑されたりするのが、こわい」と言う友達にいかに対応しますか？